



2007年3月期決算 説明資料

2007年4月27日

株式会社ベリサーブ

財務ハイライト

単位:百万円 単位未満切捨

	2006年3月期	2007年3月期	増減	増減率
売上高	4,793	6,981	2,187	45.6%
売上原価	3,266	4,741	1,475	45.2%
売上総利益	1,527	2,239	711	46.6%
利益率	31.9%	32.1%	0.2 pt	
販売費及び一般管理費	816	1,085	268	32.9%
販管費比率	17.1%	15.6%	▲1.5pt	
営業利益	710	1,153	442	62.3%
利益率	14.8%	16.5%	1.7pt	
経常利益	713	1,157	443	62.2%
利益率	14.9%	16.6%	1.7pt	
当期純利益	414	657	243	58.6%
利益率	8.7%	9.4%	0.7pt	

決算のポイント(2007年3月期)

■売上高 6,981百万円 (前期比 45.6% 増)

- ◆ 携帯電話関連の売上高が上期に引き続き堅調に推移。
- ◆ 薄型テレビ・次世代DVDレコーダーなどのデジタル家電関連の検証業務が増加。
- ◆ I T S 関連でも取引拡大。

■経常利益 1,157百万円 (前期比 62.2% 増)

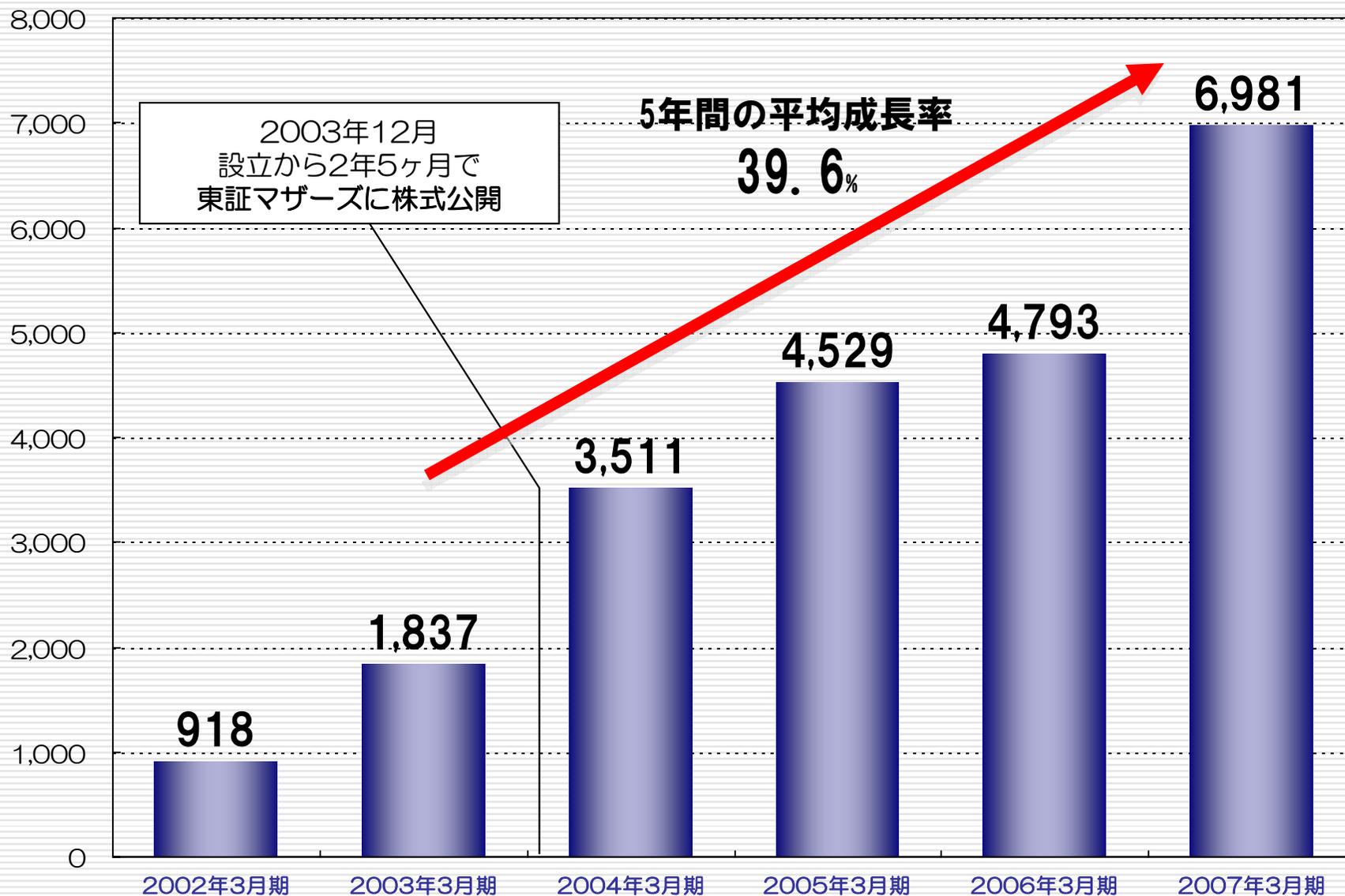
- ◆ 初の経常利益で11億円台にのせる
- ◆ 検証技術者の積極的に採用(43名増加)
イベントや展示会等への開催・出展等で、販管費総額は増加するも構成比は減少。
販売費および一般管理費の構成比率は、1.5ポイント減少。

■当期純利益 657百万円 (前期比 58.6% 増)

6期連続増収、過去最高益更新

業績推移(2007年3月期)

(単位：百万円)

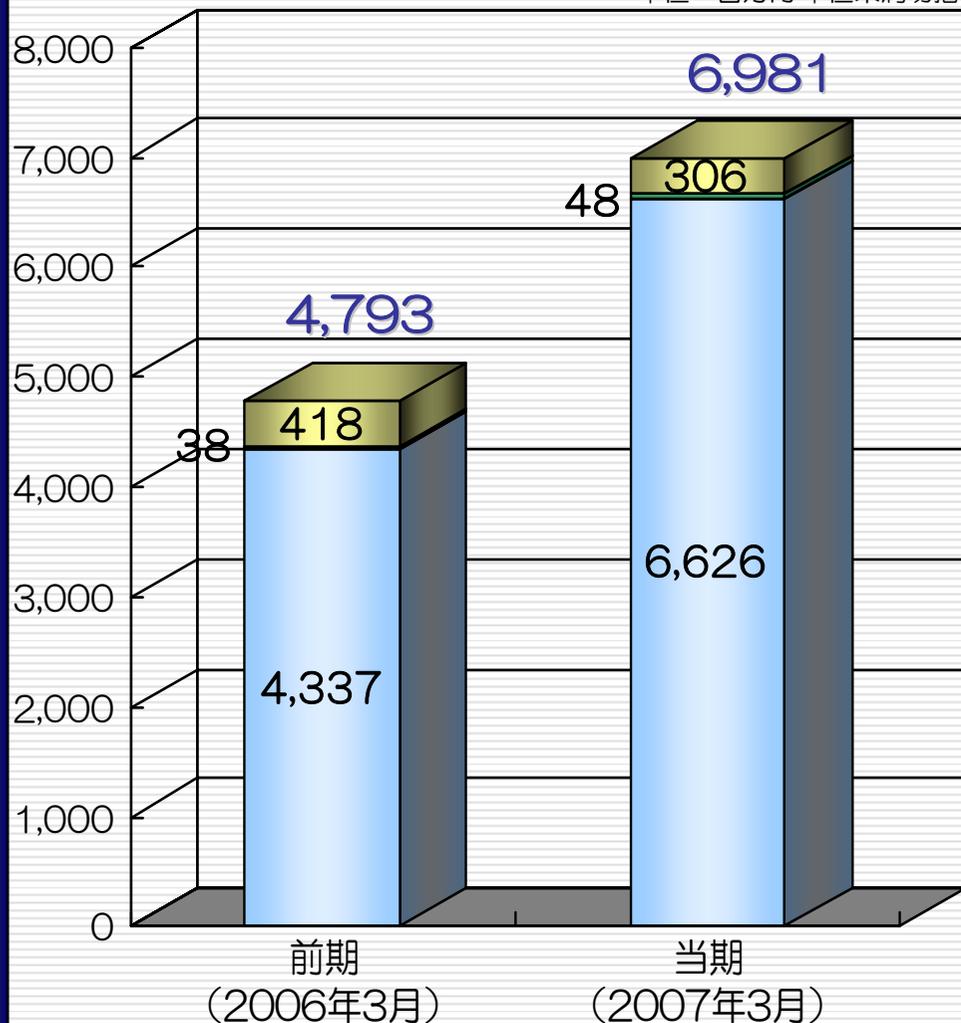


注) 2002年3月期は8カ月決算となっております。

事業部門別売上高(前期比)

単位：百万円 単位未満切捨

単位：百万円 単位未満切捨

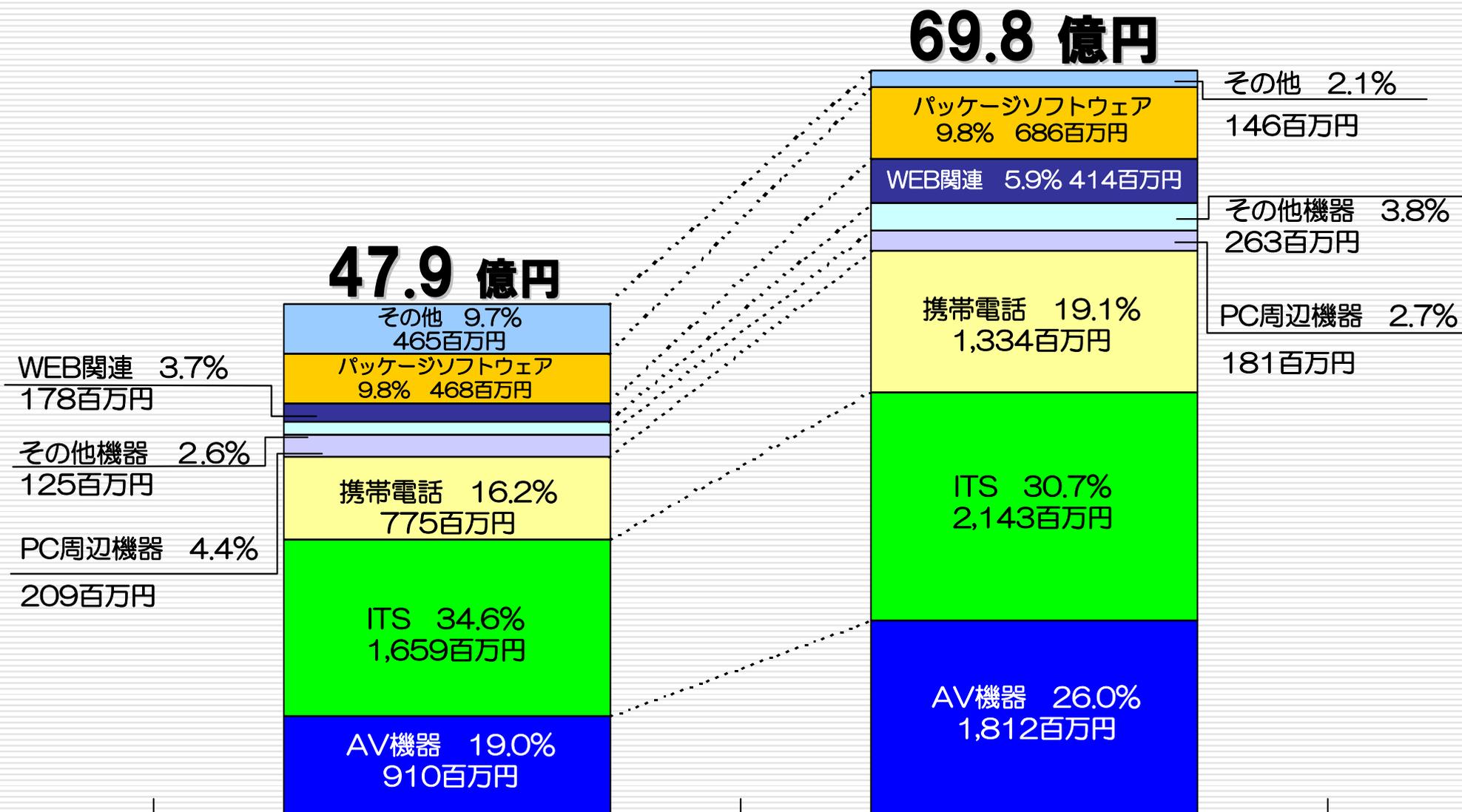


部 門	前期 (2006年3月)	当期 (2007年3月)	前期比
開発支援検証サービス	4,111	6,499	58.1%
認定支援サービス	191	96	▲49.7%
検証情報サービス	34	30	▲11.8%
製品検証サービス	4,337	6,626	52.8%
セキュリティ検証サービス	38	48	27.2%
その他のサービス	418	306	▲26.7%
計	4,793	6,981	45.6%

□ 製品検証サービス ■ セキュリティ検証サービス ▣ その他のサービス

サービス対象製品別売上(前期比)

単位：百万円 単位未満切捨



前期 (2006年3月期)

当期 (2007年3月期)

貸借対照表(前期比)

(単位：百万円 単位未満切捨)

	前期 (2006年3月期)	当期 (2007年3月)	増減
(資産の部)			
流動資産	2,462	3,573	1,111
現金及び預金	780	2,356	1,576
グループ内預け金	800	-	▲ 800
売掛金	792	1,038	245
その他流動資産	89	178	89
固定資産	258	344	86
有形固定資産	33	106	73
無形固定資産	58	64	5
投資その他	167	174	7
資産合計	2,720	3,918	1,197
(負債の部)			
流動負債	542	1,131	589
固定負債	22	3	▲ 19
負債合計	564	1,134	570
(資本の部)			
資本金	368	-	▲ 368
資本剰余金	352	-	▲ 352
利益剰余金	1,436	-	▲ 1,436
資本合計	2,156	-	▲ 2,156
負債・資本合計	2,720	-	-
(純資産の部)			
資本金	-	370	370
資本剰余金	-	354	354
利益剰余金	-	2,058	2,058
純資産合計	-	2,783	2,783
負債・純資産合計	-	3,918	-

<前期末との比較>

資産の部：11.9 億円増加

- 現金及び預金の増加：7.7億円
- 売掛金の増加：2.4 億円

負債の部：5.7 億円増加

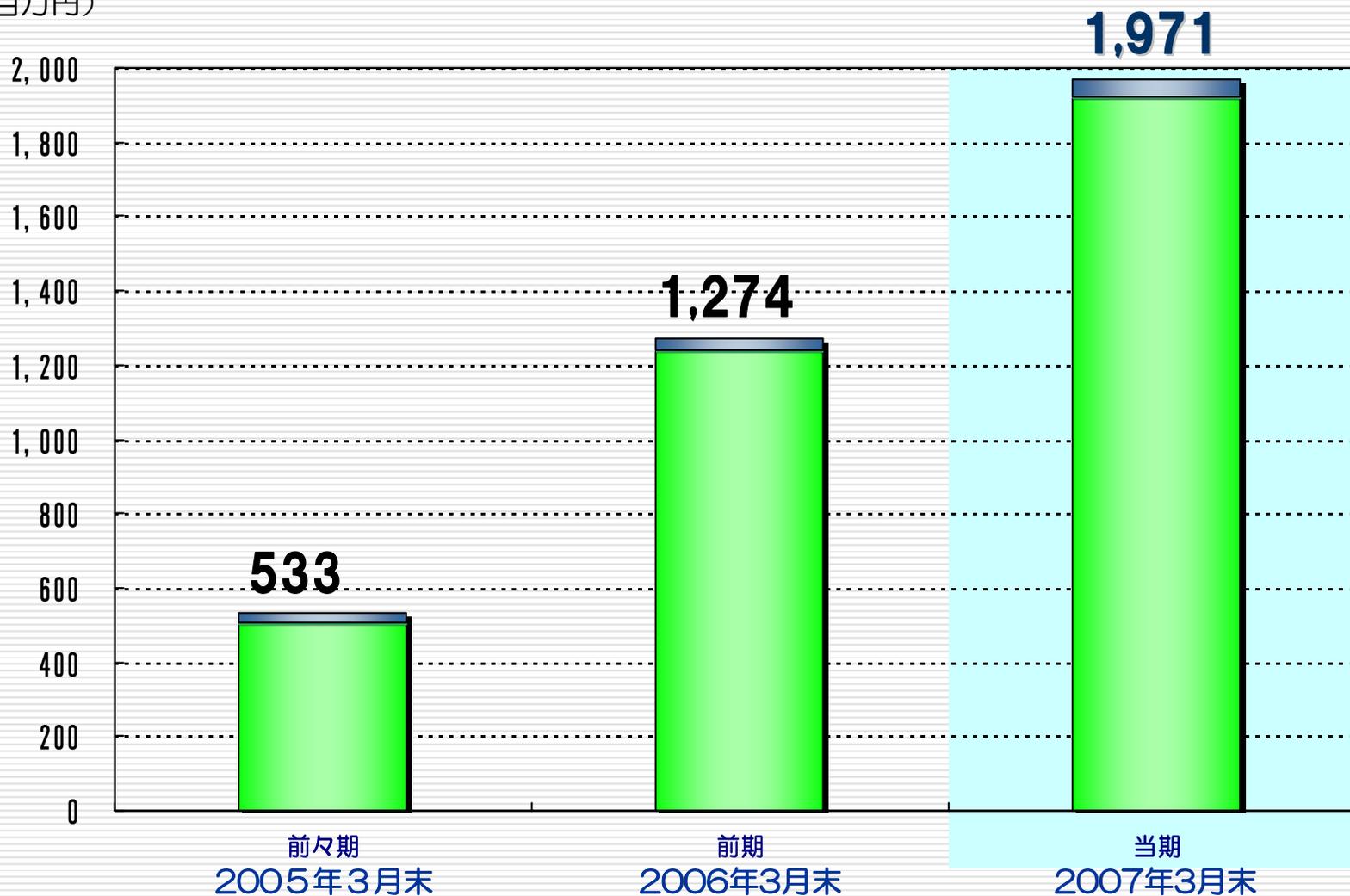
- 流動負債の増加：5.8 億円
 - 買掛金：1.2億円増加
 - 未払法人税等：2.7億円増加
- 固定負債の減少：▲ 0.19 億円

資本の部／純資産の部：

- 会社法施行に伴う区分・科目の変更

受注残の推移（期末毎）

（単位：百万円）



■ 製品検証サービス ■ セキュリティ検証サービス ■ その他のサービス

業績に応じた安定的かつ継続的な株主還元を目指し、2007年3月期における配当は下記のように考えております。

	2006年3月期	2007年3月期
1株当たり 配当金額	1,500円	2,500 円

・株主還元策の実施状況：

決算期	2004年3月期	2006年3月期	2007年3月期
実施施策	株式分割 1株→4株	初の配当実施 1株当たり 1,500円	1株当たり 2,500円 に増配

・個人投資家向け説明会：

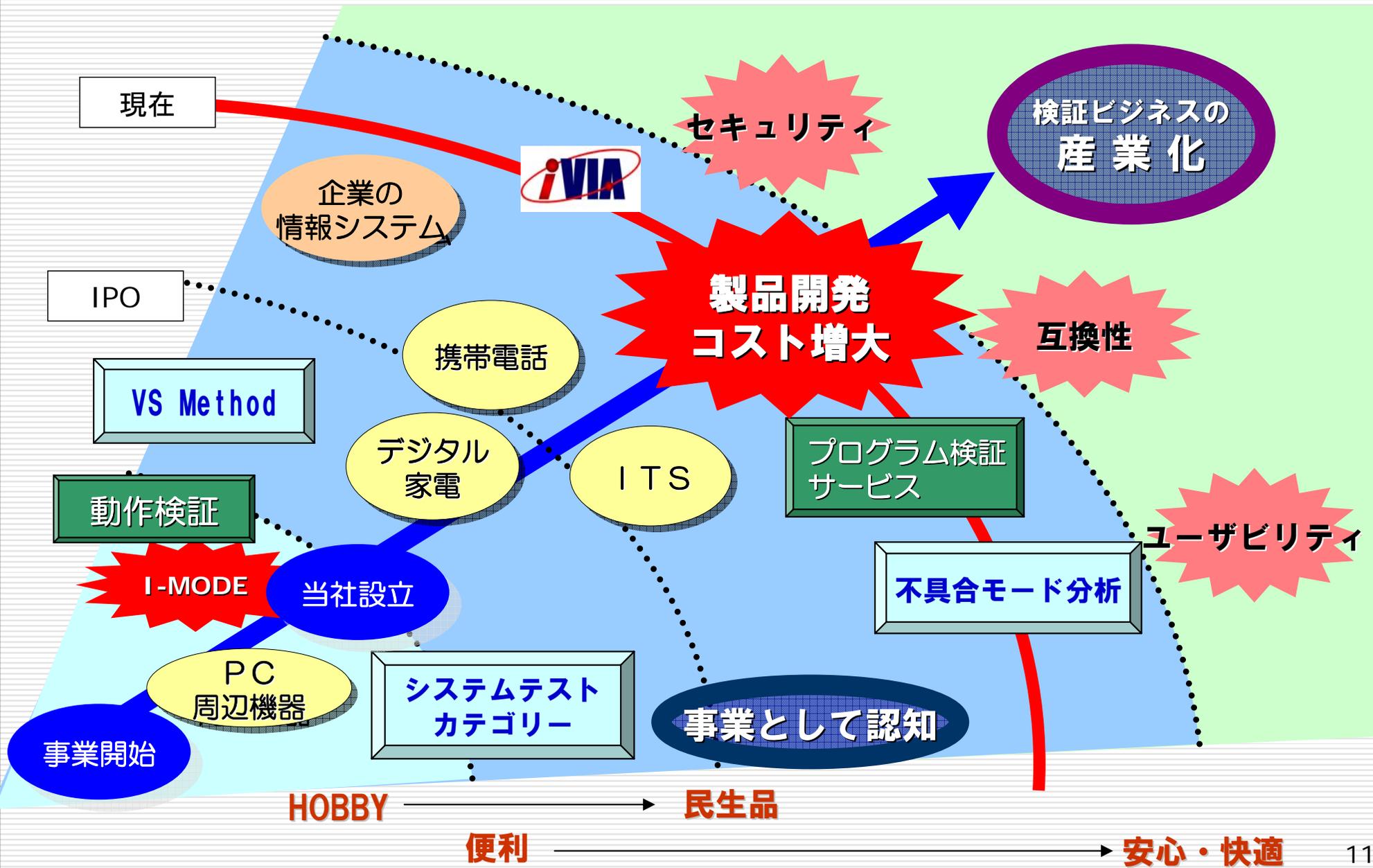
2007年2月24日 大和IR主催の個人投資家説明会に参加。



中期計画ならびに 2008年3月期における取組み

代表取締役社長 浅井清孝

検証ビジネスの過去・現在・未来



<http://www.veriserve.co.jp/>

中・長期計画の基本方針

検証事業の産業化を目指し、検証事業のリーディングカンパニーを目標とする。

1. 検証ビジネスの知名度向上

→ システム検証事業全体の認知度を向上。

2. 検証ビジネスのコンソーシアム

→ IT検証産業協会 (IVIA) の設立と活動。 標準化/人材育成/IPA SEC参加

3. 検証技術者の地位向上

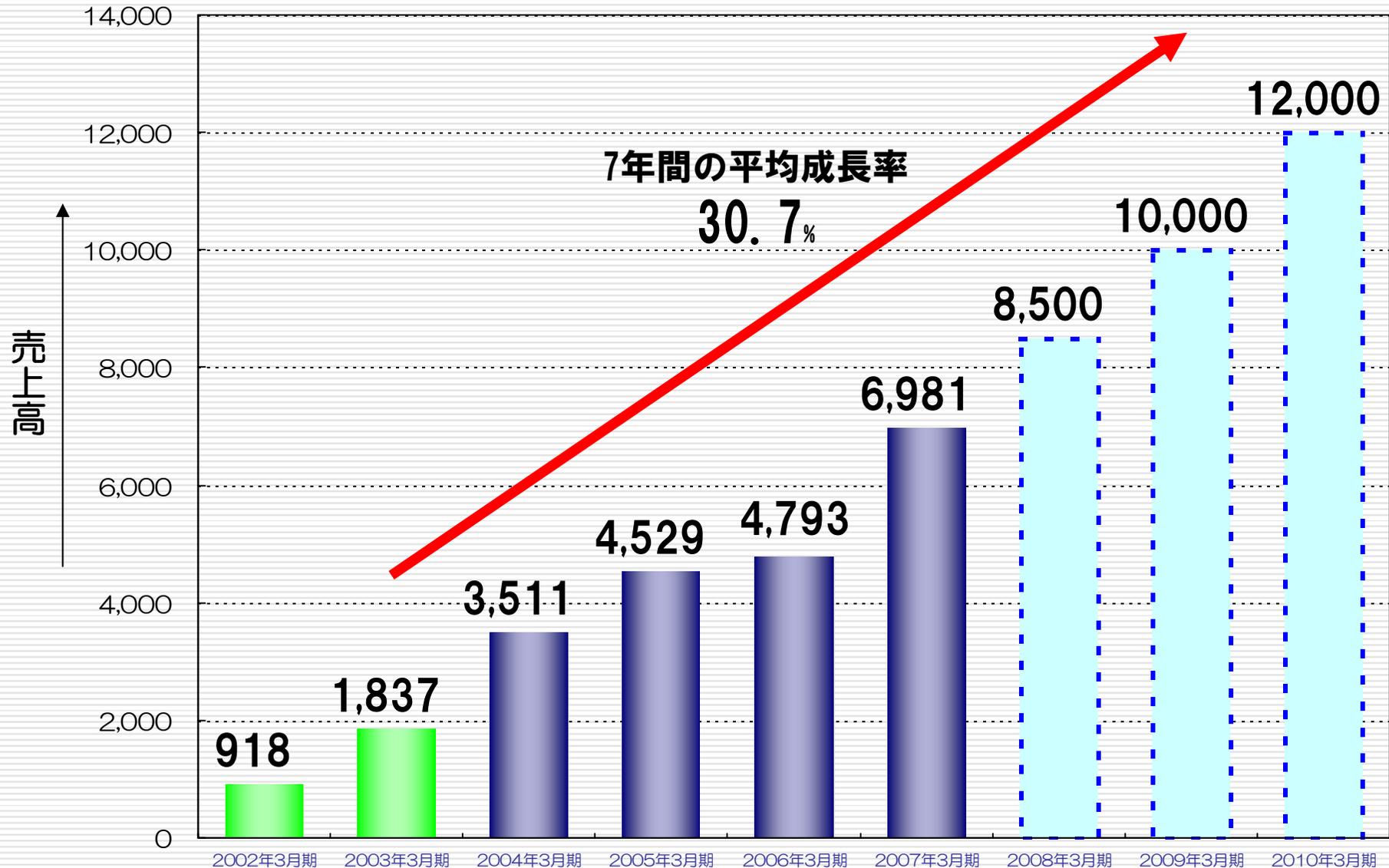
→ 「IT検証技術者認定試験」への参加 → 3月11日 東京・大阪359名受験

4. 検証サービスの多様化

→ 他分野における検証ビジネスの模索

中期計画 売上高目標

(単位：百万円)



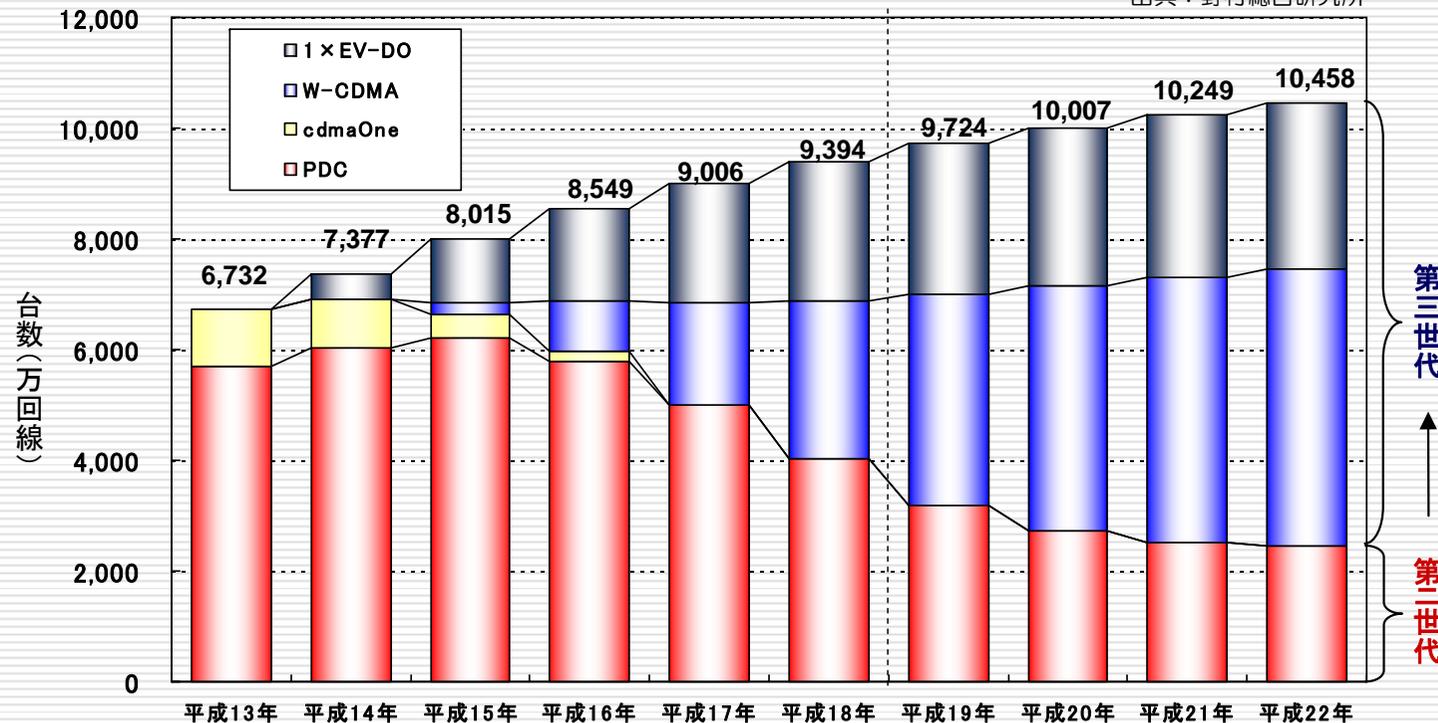
注) 2002年3月期は8カ月決算となっております。

検証対象製品の動向：携帯電話分野

- 2006年10月より始まったモバイル・ナンバー・ポータビリティ（MNP）から通信キャリア間の加入者獲得競争が加速。
- 「第2世代 → 第3世代」への世代交代が加速
- 日本国内における端末買い替えサイクルは、約2年。
→ コンスタントな需要が見込まれる。

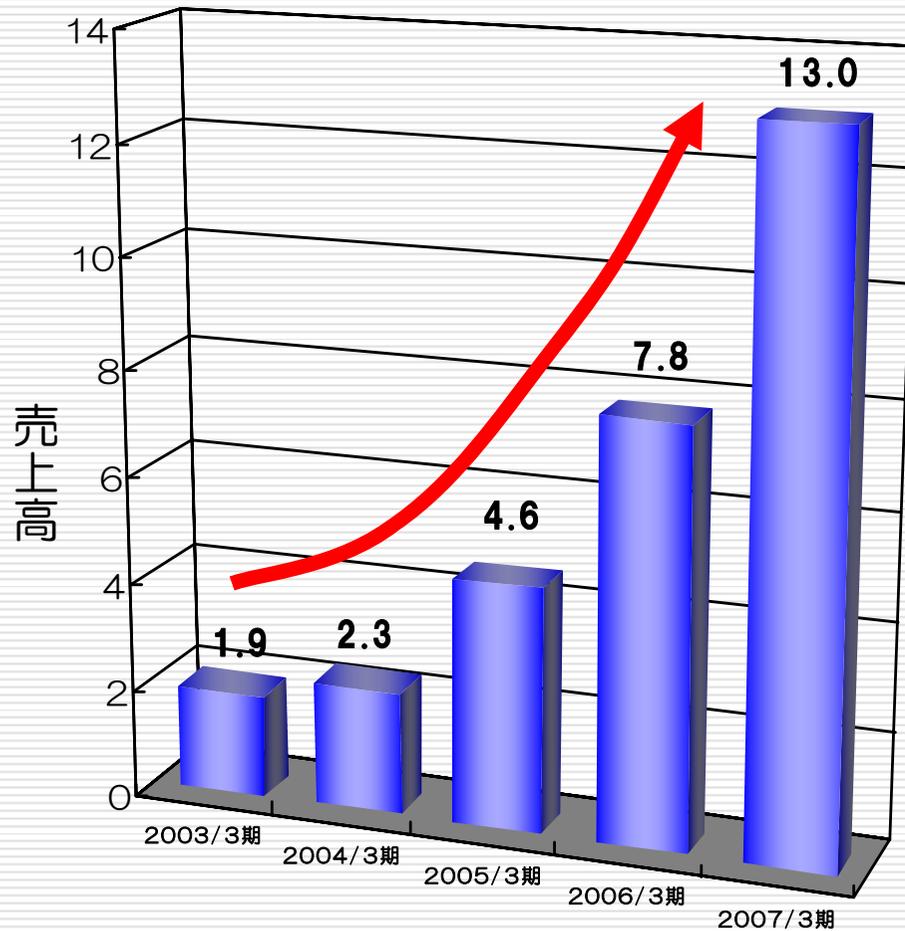
携帯電話の総加入者数推移

出典：野村総合研究所



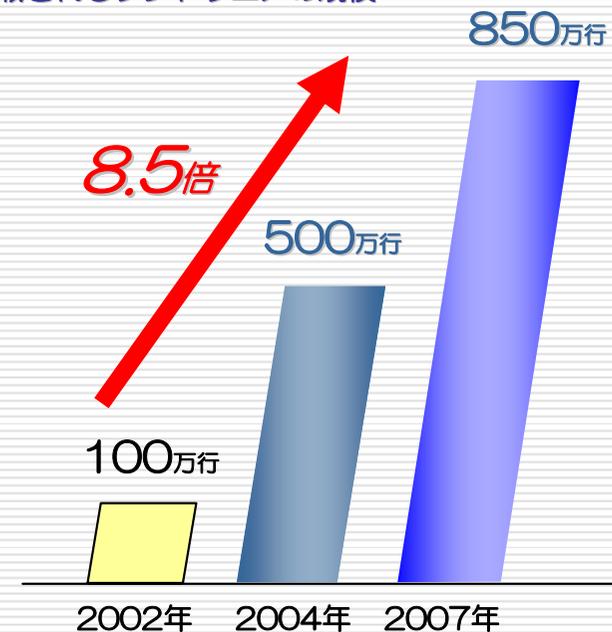
携帯電話分野 業績推移

(単位：億円)



第三代携帯電話への端末の世代交代と共にMNPへ対応した新規電話端末の増加に伴う検証ニーズを捉え、サービス提供を拡大する。

搭載されるソフトウェアの規模



携帯電話

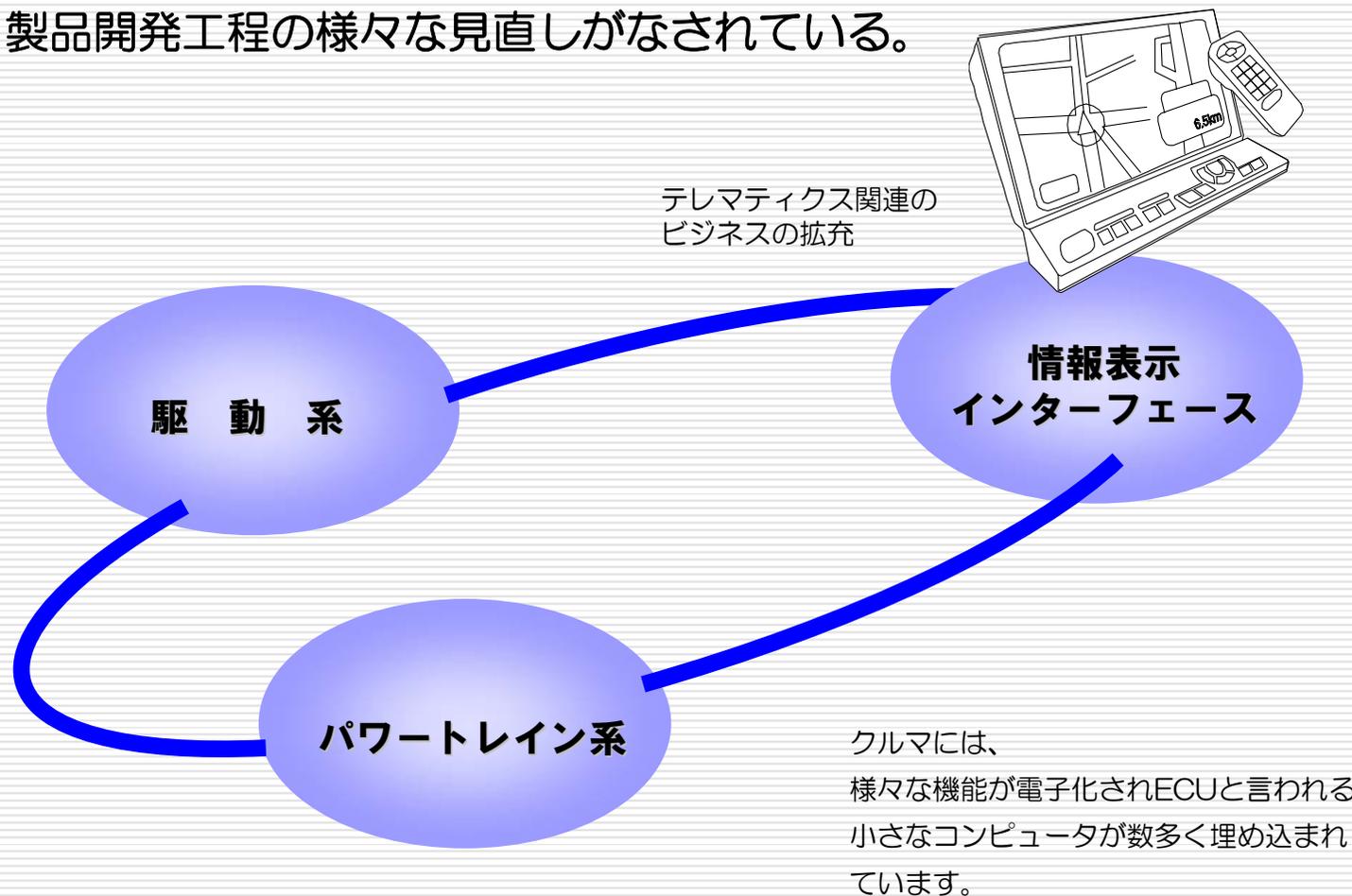
当社推計

検証対象製品の動向:ITS分野

自動車の電子化は高度化。

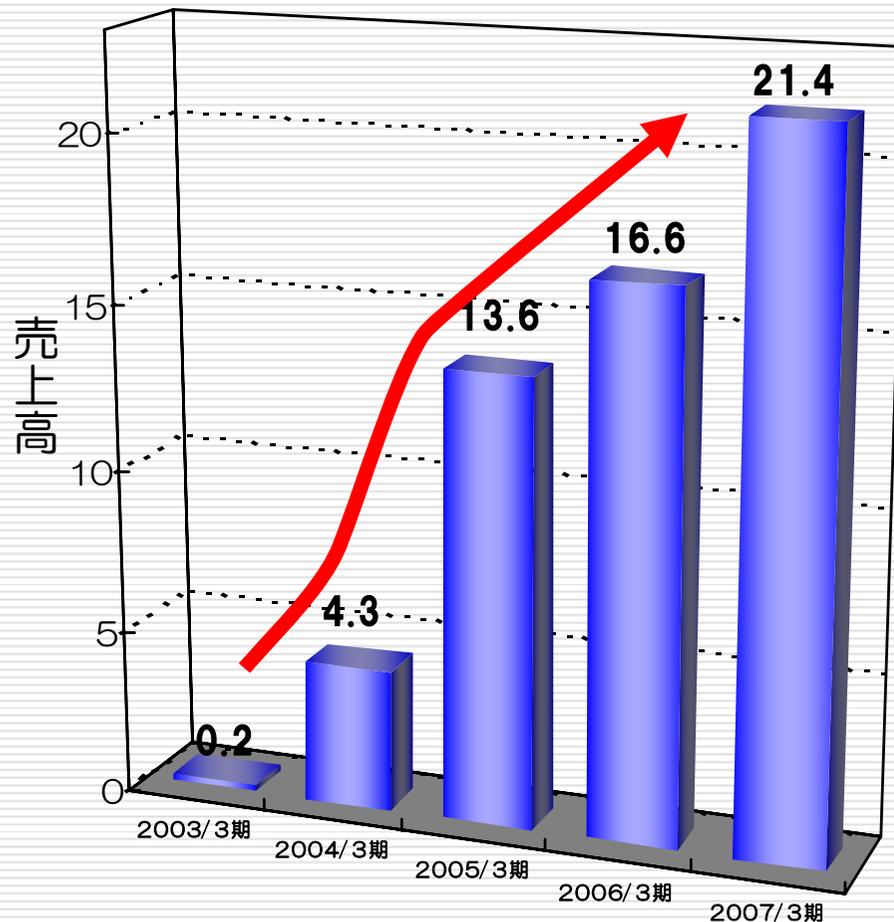
しかし、電子化には莫大なコストもかかっており、

製品開発工程の様々な見直しがなされている。



ITS関連分野の業績推移

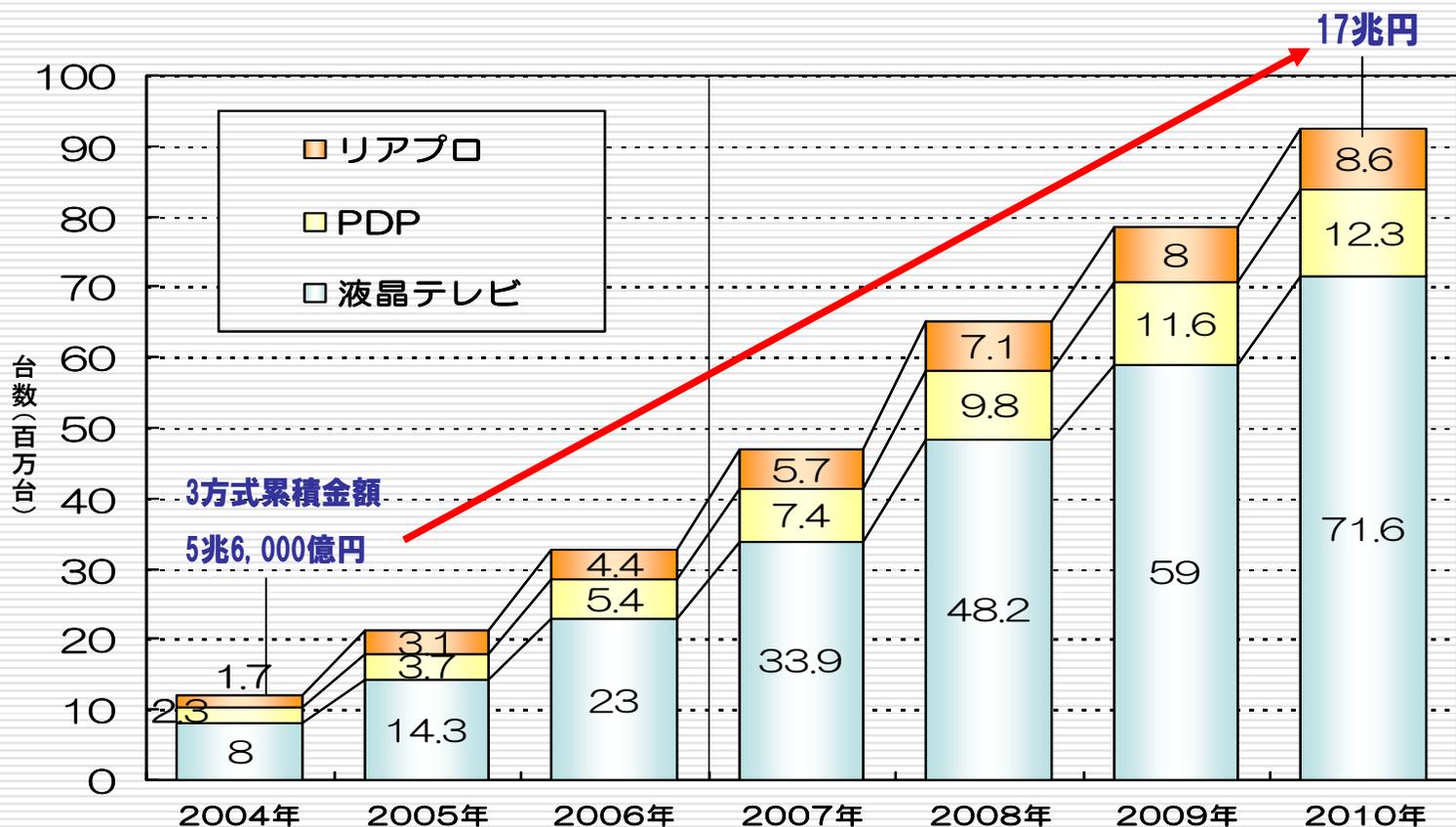
(単位：億円)



- ・カーナビ各社との取引を拡大できた。
- ・ワンセグ対応など新しい機能の追加や自動車各部へ搭載されたECUなどの情報を表示するヒューマンインターフェースとしてのカーナビの高機能化は進むものと考えられる。
- ・カーナビ以外の車載機器にもビジネスを展開

検証対象製品の動向: デジタル家電分野

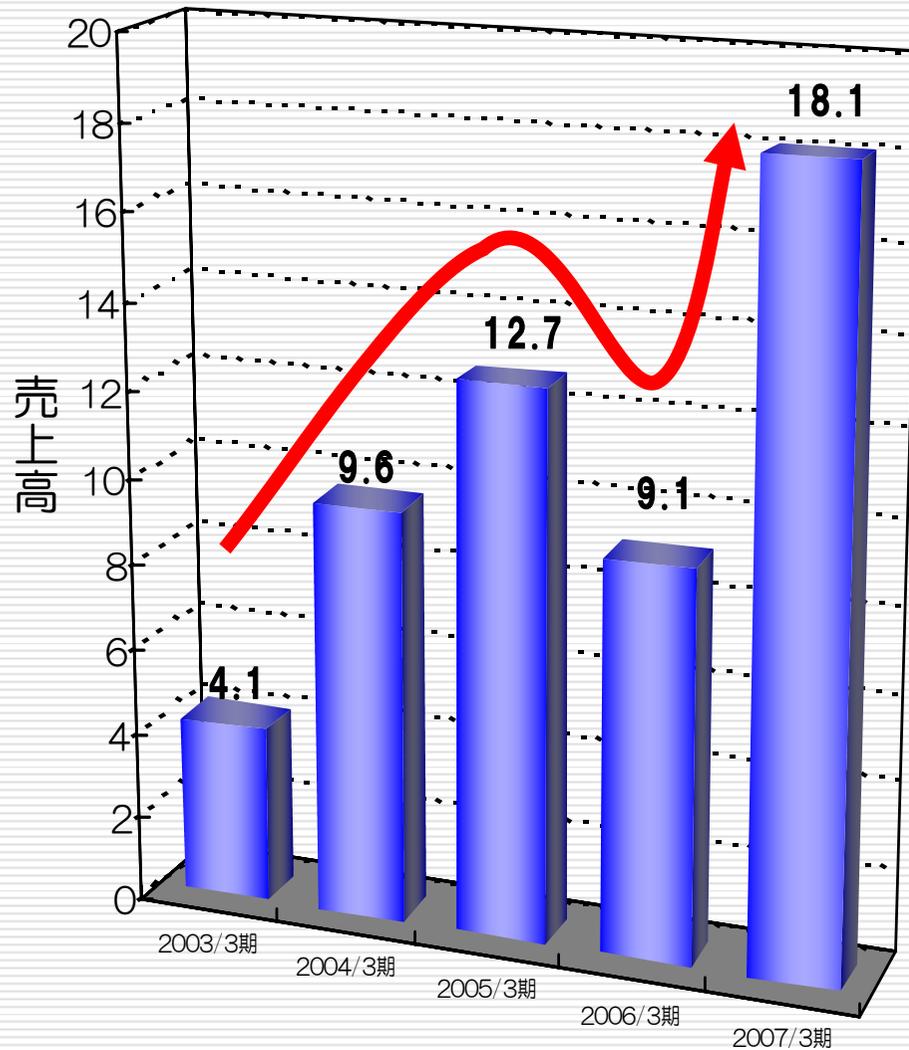
- 家庭用ホームビデオ → DVDレコーダーへ主力は移行。
- アナログテレビ → デジタルテレビへ急速に移行していくものと考えられる。
液晶、プラズマなどのフラットパネル化と共に
より高画質、高品質な製品へシフトしていく



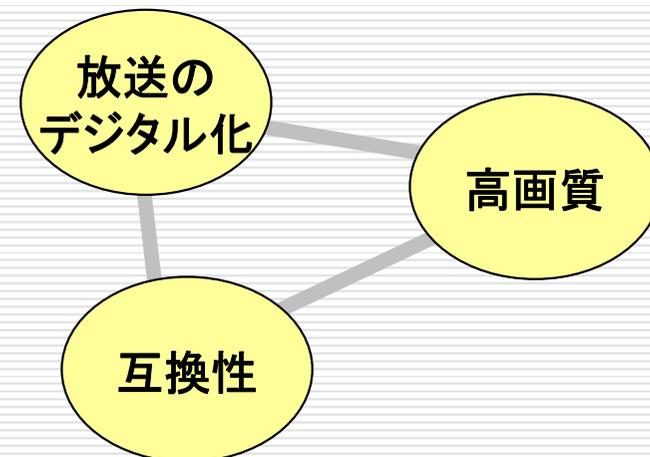
出典：野村総合研究所

デジタル家電分野の業績推移

(単位：億円)



- 地上波デジタル放送は、
2009年の北京五輪などの大きなイベントを契機として、普及が加速する。
- 今後、家庭内に普及したデジタル家電同士の接続などへ発展していくものと考えられる。



1. システム検証の専門性の追求

フルライン検証サービス

顧客における製品開発の流れ

企画 → 要件定義 → 基本設計 → 詳細設計 → ソフト開発 → 評価 → 量産 → 出荷検査 → サポート

上流工程に
フィードバック

静的検証

動的検証 (機能テスト)

● 静的検証サービス 「VeriSource」
検証ツール&専門技術者、より短時間に、効率的に行える検証サービス。

● TCO削減を実現するコンサルティング
動的検証/静的検証から不具合の発生内容を分析し、顧客特有の事象を分析しながら、上流工程でのレビューによる不具合の防止

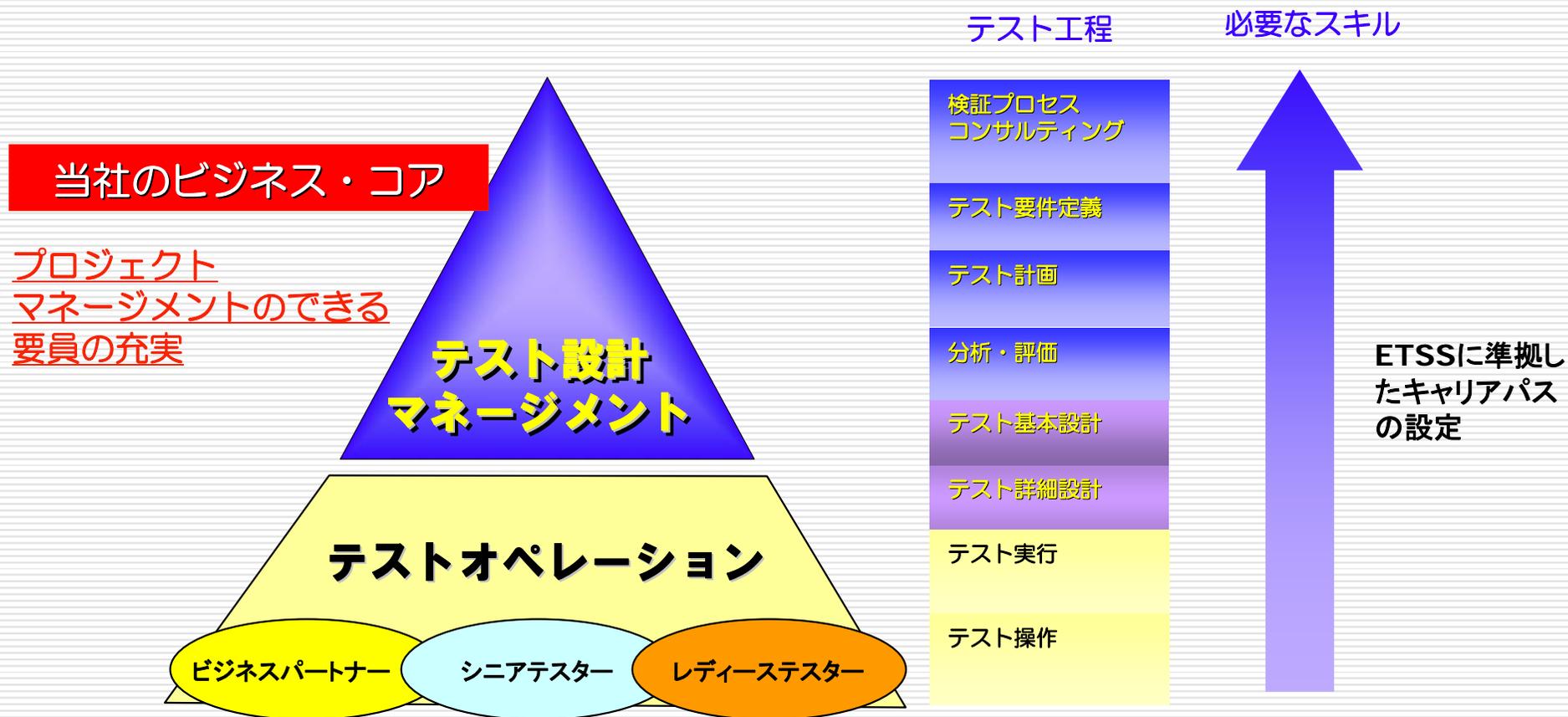
● 分析 不具合モード分析
検証結果の内容を分析し、顧客毎のプログラム開発における不具合傾向などを分析し、次回以降の開発にフィードバック。

レポートの標準化
テストオペレータ教育

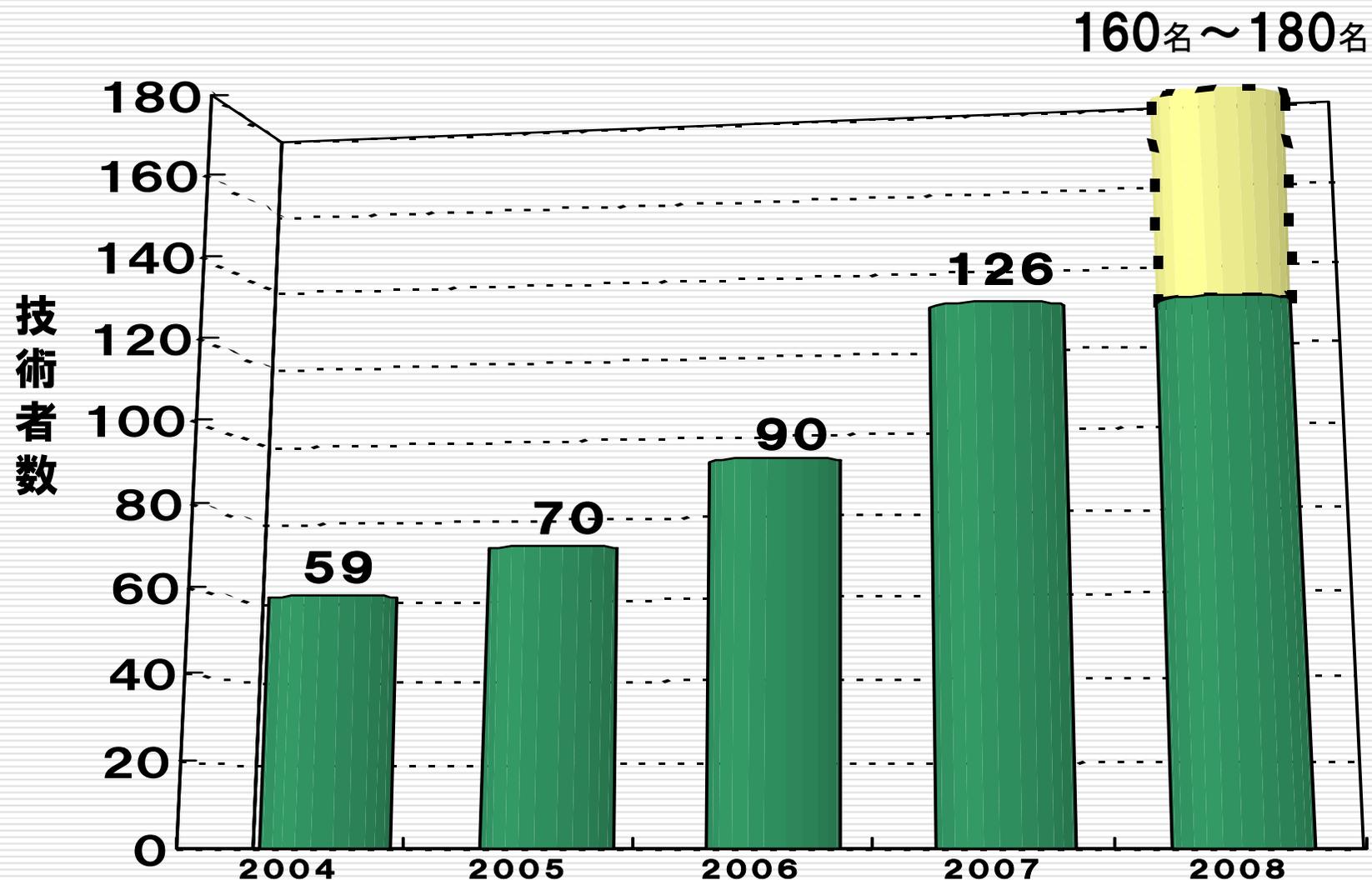


2. 人材の積極採用、教育体制の充実

- 新卒採用・中途採用した要員の早期戦力化。
- ビジネスパートナー企業との更なる協力関係の推進。



システム検証技術者数推移



採用と教育については引き続き、継続していく方針。

今期の見通し

(単位：百万円)

	2007年3月期	2008年3月期 見通し	
	実績	中間	通期
売上高	6,981 百万円	3,900 百万円 (25.4%)	8,500 百万円 (21.7%)
営業利益	1,153 百万円	600 百万円 (19.4%)	1,400 百万円 (21.4%)
経常利益	1,157 百万円	600 百万円 (19.0%)	1,400 百万円 (20.9%)
当期純利益	657 百万円	330 百万円 (13.1%)	780 百万円 (18.6%)

注：()内は前期比となっております。



**私たちの使命は、
市場に投入されるIT関連製品およびシステムの検証を通じて、
より快適なIT社会づくりに貢献することです。**

＜免責事項＞

- 本資料は、当社の2007年3月期決算ならびに中期計画に関する情報の提供を目的としたものであり、当社の株式の購入や売却を勧誘するものではありません。
- 本資料の内容には、将来の業績に関する意見や予測等の情報を掲載することがありますが、これらの情報は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されております。よってその実現・達成を約束するものではなく、今後、予告なしに変更されることがあります。
- 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。また、本資料のいかなる部分も電子的または、機械的な方法を問わず、無断での複製、転送等を行わないようお願いいたします。